

清 流

特定非営利活動法人 杉並区保護観察協会会報

清流 第10号

発行 2025年3月31日
編集・発行 特定非営利活動法人
杉並区保護観察協会
発行責任者 青山 亨

ご挨拶

会長 青山 亨

令和6年度の活動を終え、新年度を迎えました。此の一年間、会員の皆様の多大なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。お陰様で年間行事計画も総て予定通り順調に終了する事ができました。



時代は変わり電子化が進み、携帯電話やタブレットを青少年が自由に操作する事で想像にもなかった犯罪が発生しています。SNSによる誹謗中傷、有害情報、著名人になりすました偽情報、闇バイト募集等の犯罪が日々発生しています。誹謗中傷では自殺に追い込む悪質なケースも多々報道され、注意が喚起されています。又闇バイト募集では高額日当表示で青少年を引き込み、金銭詐欺に係る担当や、窃盗、強盗等危険きわまりない役割を演じさせています。

私達保護観察協会は更生保護活動の一環として先ずこのような犯罪に手を出さぬようPRに励むと共に、非行や犯罪を犯した青少年が立ち直った時、温かく見守り支えられる地域社会の支援の輪を広げるボランティア運動を実践しています。

本年の事業の第一に掲げました更生保護活動団体への助成も、杉並区保護司会、杉並区更生保護女性会、杉並区社会を明るくする運動推進委員会等に呈上することができました。

第二は杉並区社会を明るくする運動での刑務所作業製品の販売です。運動当日は販売ブースを設置し受刑者の製作品を説明し、同時に更生保護の必要性をPRしました。又駅頭での宣伝にも参加協力をしています。

第三は刑務所訪問研修です。この事業の特徴は、町会、自治会等団体のリーダーに参加頂くことです。更生保護の必要性を実体験して頂くことで理解を深め、地域で説明して頂く事により理解者を広げて頂ければ私たちの望むところであります。今回は甲府刑務所を訪問しました。

当協会は常に会員の増強を図っています。是非皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

総 会

5月28日10:30例年のように産業商工会館展示

室で令和6年度総会が開かれました。

令和5年度の活動報告、令和6年度の活動計画などが無事承認された後、杉並区保護司会、杉並区更生保護女性会、杉並区社会を明るくする運動推進委員会に対し助成金を呈上しました。



総会の様子

総会は当協会の一年間の活動を振り返り、今後の活動方針を決定する大事な会ですが、多くの会員や町会の方々にも出席頂き、また関連団体からご挨拶を頂くなどして盛況の内に閉会しました。

主な事業

当協会は、その活動目的を達成するため

に、毎年次のような事業を行っています。

①助成金呈上

杉並区保護司会、杉並区更生保護女性会、杉並区社会を明るくする運動への助成金呈上。

②社会を明るくする運動に参加

「ひまわりフェスタ」「すぎなみフェスタ」にて刑務所作業製品を販売。

③各種研修会

毎年町会の方をお誘いして、刑務所訪問を実施。

④広報活動

広報誌「清流」を会員、各町会に配布。

ひまわりフェスタ

第74回「社会を明るくする運動」ひまわりフェスタは、7月15日、5年振りにセシオン杉並での開催となりました。



ステージプログラムの村木厚子氏の講演と警視庁音楽隊の演奏はたくさんの方々に聞いて頂きました。

当協会は今年もCAPICから仕入れた刑務所作業製品の販売を行い、好評を博しました。

その他各種のブースと共に展示室での活動の展示もあり、更生保護についての理解を深めて頂けたと思います。

施設訪問

8月8日甲府刑務所を訪問しました。

真夏の暑い早朝7時15分に阿佐ヶ谷を、町会関係者、保護司会関係者、30人で出発。途中、道の駅「つる」では、農業国の山梨の新鮮な農産物の山に惹かれ、農産物を購入し、昼食は、天然温泉の湧く、小高い丘の上に立つ南欧風の建築「フルーツパーク富士屋ホテル」で、甲州の名物を味わいました。

甲府刑務所は618人の受刑者を収容。明治2年徒刑場として始まり場所を変えながら、明治45年に甲州監獄所、大正11年に甲州刑務所になりました。山梨県唯一の刑事施設で、未決拘置者も収容する拘置区を備えています。13:30から始った研修では、現在の犯罪傾向や、社会に潜む問題点を学び、刑を終えた人たちが社会に復帰するための技術を取得する現場も見学しました。

刑務所作業製品を多く扱い販売する倉庫では列を作り、たくさん買い込んでいました。

帰路、明治43年に誕生した「桔梗信玄餅」の工場に寄り、甲府名物を堪能して家路につきました。



ひまわりフェスタ展示室

すぎなみフェスタ

11月9-10日の2

日間、今年度も桃井原っぱ公園で恒例の

すぎなみフェスタが開かれ、両日で延べ95,000人の人出で賑わいました。

「多文化共生」や「環境配慮」を掲げた今回の催しでは、交流自治体のブースがたくさん並び、杉並の野菜や苗木類も人気でした。

当協会では、更生保護3団体が共同でテントを借り、ひまわりフェスタに続いてここでも刑務所作業製品を販売すると共に、製品の特徴や販売の意義を伝え、更生保護のPRに一役買えたことと思います。



すぎなみフェスタでの当協会ブース



すぎなみフェスタ